



すぐに打ち解け、
つながりの大切さを知りました



みとよの豊かな自然を
体感しました



みんなで協力しながら、テント張りや夕食作りを行いました。
2日目は、粟島と志々島。粟島では人気のマスキングテープを使ったアートを体験。締めくくりとなった志々島では島を散策。「大きくす」の大きさに子どもたちは圧倒された様子でした。
みとよを知って郷土を愛する気持ちが芽生え、かけがえない友だちを作り、多くのつながりを持つことができた貴重な2日間となりました。

三豊市・観音寺市の島を巡る「みとよふるさと探険隊」が発見・体験・島巡り」が8月17・18日の2日間、開催されました。これは、子どもたちに海や島々のすばらしさ、人と人とのつながりの大切さを知ってもらおうとみとよ青年会議所が初めて企画したもので、両市の小学生104人が参加しました。
1日目は、伊吹島を見学した後、高島でキャンプ体験。

発見！ 探険！ ここが自慢の ふるさとだっ！



「みとよ」をもっと知ろう
たくさんの人と交流しよう
人から人へ想いを伝えよう

ふるさを好きになるには まず知ること

みとよ青年会議所では、これからの地域を担う子どもたちに自分のふるさとを愛して、誇りを持ってもらおうと、宿泊体験事業を今年から10年間計画しています。
ふるさを好きになるには、知ることから始まるんですよね。いろんな体験を通してみとよの良さを自分の肌で感じてもらいたくて、今回は美しい海や島々を舞台に開催しました。無事に第1回目を終えて参加した子どもの保護者から喜びとお礼の言葉を多くもらい、やってよかったと思っています。
参加した子どもたちが、また次の世代に自慢のふるさを伝えていってほしいですね。



みとよ青年会議所
みとよの風実行委員長
合田 政喜さん